



SIAF
SAPPORO INTERNATIONAL ART FESTIVAL
2014

札幌国際芸術祭2014

全体概要

平成 26 年 3 月 13 日現在

創造都市さっぽろ・国際芸術祭実行委員会

<http://www.sapporo-internationalartfestival.jp>

ご挨拶

世界的な経済危機、震災、原発事故を体験した私たちは、自らの生活を見つめ直し、文明的な変革をもたらす大きな転機を認識しています。こうした中、全国の中で魅力ある都市と評される札幌の街を誇りに思い、さらに磨きをかけて、次世代へ引き継いでいかなければなりません。

札幌市は、2006年に「創造都市さっぽろ宣言」を行い、市民一人ひとりが創造力を発揮することで、生活、文化、産業など様々な分野で創造的活動が展開されていく、そしてその魅力を力強く世界に発信していく取り組みを進めています。

「札幌国際芸術祭 2014」は、この「創造都市さっぽろ」の象徴的な事業として開催いたします。

「札幌国際芸術祭 2014」では、ゲストディレクターに坂本龍一氏に就任していただき、開催に向けて準備を進めております。

開催テーマは「都市と自然」。歴史文化・風土、都市機能、地域経済や産業、暮らし方をアートの視点で見つめ直すことで都市と自然との共生のあり方を問い、私たち市民自らが未来を展望する機会を創出する芸術祭です。

また、札幌市は、ユネスコ創造都市ネットワークのメディア・アーツ分野での加盟を申請し、2013年11月にアジア初の「メディア・アーツ」都市として認定されました。

「札幌国際芸術祭 2014」の開催と、このユネスコ創造都市ネットワーク加盟を契機に、市民一人ひとりの創造性を核とした地域の文化力向上、メディア芸術の振興、創造都市の推進を共振させ、長期的な展望のもと、国際的な文化芸術都市としての歩みを進めていきたいと考えております。

創造都市さっぽろ・国際芸術祭実行委員会 会長

札幌市長 **上田文雄**

目 次

札幌国際芸術祭 2014 とは	… 003P
開催テーマについて	… 004P
札幌国際芸術祭 2014 の特徴 札幌国際芸術祭 2014 が目指すもの	… 005P
「創造都市さっぽろ」とは 「ユネスコ創造都市ネットワーク」加盟について	… 006P
ロゴマークおよびキービジュアルについて	… 007P
事業フレームについて	… 008P
事業概要 _ エキシビション	… 009P
事業概要 _ パフォーマンス/ライブ	… 019P
事業概要 _ プロジェクト	… 022P
プレフェスティバルイベントについて	… 027P
特別連携事業について	… 028P
連携事業について	… 029P
連携事業の募集について	… 032P
札幌国際芸術祭 2014 全体としての取り組みについて	… 033P
開催スケジュール	… 034P
主な会場	… 036P
会場 MAP	… 038P
札幌へのアクセス	… 039P
チケット情報	… 040P
実施体制	… 041P
参加アーティスト	… 042P

札幌国際芸術祭 2014 とは

札幌初の国際的なアートフェスティバルである「札幌国際芸術祭 2014」は、「創造都市さっぽろ」の象徴的な事業です。世界的に著名なアーティストである坂本龍一氏をゲストディレクターに迎え、2014年7月19日(土)から9月28日(日)まで、72日間に渡り開催します。

開催テーマは「都市と自然」。

これからの都市と自然の共生のあり方を考える国際芸術祭として、世界で活躍する現代アーティストたちが参加し、市内各所では様々なプロジェクトなどが展開されます。

美術館はもちろん、札幌全体が芸術祭の舞台となります。

《開催概要》

札幌国際芸術祭 2014

名称

Sapporo International Art Festival 2014
(略称: SIAF^{サイアフ}2014)

開催テーマ

《テーマ》「都市と自然」 [City and Nature]

《サブテーマ》「自然」「都市」「経済・地域・ライフ」 [Nature] [City] [Economy, Community and Life]

ゲストディレクター

坂本 龍一 / Ryuichi Sakamoto

開催期間

2014年7月19日(土) ~ 9月28日(日) (72日間)

主な会場

- ・北海道立近代美術館
- ・札幌芸術の森美術館
- ・札幌駅前通地下歩行空間(チ・カ・ホ)
- ・北海道庁赤れんが庁舎
- ・モエレ沼公園
- ・札幌市資料館
- ・札幌大通地下ギャラリー 500m 美術館 ほか

事業数
および
会場数

事業数：主催事業 20 事業

エキシビション…8 事業
アーティスト関連イベント…2 事業
パフォーマンス/ライブ…3 事業
プロジェクト…5 事業
関連企画…2 事業

会場数：主な会場…7 会場、パフォーマンス/ライブ…2 会場

※ 上記の事業数・会場数は2014年3月13日現在のものとなります。
今後変更となることがありますので、予めご了承ください。

主催

創造都市さっぽろ・国際芸術祭実行委員会

《テーマ》

「都市と自然」

《サブテーマ》

「自然」「都市」「経済・地域・ライフ」

明治維新とともに北海道と名づけられたこの土地は、
まさに日本の近代化を担ってきた象徴ともいえる。
先住民族や自然そのものもその近代化に無縁ではいられなかった。
そうした過去の歩みをアートとしてふりかえることで、
21世紀の札幌・北海道の自然、都市のあり方、経済、暮らしを模索する（社会彫刻）。

各テーマを生かした先進的な作品を、ふさわしい場所に展示。

ゲストディレクターからのメッセージ



© 2011 Kab Inc.
Photography by Rama

札幌国際芸術祭 2014
ゲストディレクター

坂本 龍一

1952年東京生まれ。東京芸術大学大学院修士課程修了。1978年『千のナイフ』でソロデビュー。同年、細野晴臣、高橋幸宏と『YMO』を結成。散開後も、音楽・映画・出版・広告などメディアを越え活動。1984年、自ら出演し音楽を担当した『戦場のメリークリスマス』で英国アカデミー賞他を、映画『ラストエンペラー』の音楽でアカデミー賞、グラミー賞他受賞。以後、活動の中心は欧米へ。

常に革新的なサウンドを追求する姿勢は世界的評価を得ている。1999年制作のオペラ『LIFE』以降、環境・平和問題に言及することも多く、自然エネルギー利用促進を提唱するアーティストの団体 artists'power の創始、森林保全団体「more trees」の創設など活動は多岐にわたっている。加えて311以降は被災地の復興支援、さらには脱原発運動にも積極的に関わっている。

2006年には新たな音楽コミュニティの創造を目指し「commons」をエイベックスとともに設立した。

主な作品に『B-2 UNIT』『音楽図鑑』『BEAUTY』『LIFE』『out of noise』、著書に『音楽は自由にする』、共著に『縄文聖地巡礼』、『いまだから読みたい本—3.11後の日本』、『NO NUKES 2012 ぼくらの未来ガイドブック』など。

2012年には「1996」以来待望のトリオ・アルバム『THREE』を発表。

2013年1月より放送を開始したNHK大河ドラマ「八重の桜」のテーマ曲を手がけ、現在、オリジナル・サウンドトラックアルバムが好評を得ている。

また、2013年は山口情報芸術センター（YCAM）10周年事業のアーティストック・ディレクターとして、2014年はSIAF2014のゲストディレクターとしてアート界への越境も積極的に行っている。

1990年より米国、ニューヨーク州在住。

【社会彫刻】

あらゆる人間は自らの創造性によって社会の幸福に寄与する。誰でも未来に向けて社会を彫刻しうるし、しなければならない。
「芸術こそ進化にとっての唯一の可能性、世界の可能性を変える唯一の可能性」創造都市理念の核心である。ヨーゼフ・ボイス提唱

札幌国際芸術祭 2014 の特徴

「札幌国際芸術祭 2014」では、「地域」がホストとなり、札幌の歴史・風土、インフラ、産業、食をはじめとするライフスタイルなどにも焦点を当て、ゲストディレクターが熟慮した開催テーマのもと、共に国際芸術祭を作り上げていきます。

札幌の自然や街並み、公園、歴史的建造物、地下歩行空間が舞台となるこの芸術祭において、ゲストディレクターである坂本龍一氏には、新たなアイデアや世界的な観点を導入していただき、アソシエイト・キュレーターが空間を構成する展覧会や、市内各所で展開するアートプロジェクトなどを総合的に監修いただいています。

札幌国際芸術祭 2014 が目指すもの

「札幌国際芸術祭 2014」では、北海道・札幌の都市・環境的課題や過去の歩みをアートとしてふりかえることで、自然、都市のあり方、経済、暮らしを模索し、都市と自然との共生のあり方を問います。

会期中に訪れた人々は、芸術祭の様々な舞台へと出掛け、現代アートを中心に、音楽、パフォーマンス・アーツ、メディア・アートといった各種プログラムを楽しみ、ワークショップなどに参加しながら、地域に触れて、様々な人々と交流します。それは、未来を展望する機会を創出する芸術祭を体感することへとつながります。

「創造都市さっぽろ」とは

文化芸術の多様な表現に代表される創造性を活かし、産業振興や地域の活性化などのまちづくりを進めている都市は「創造都市 (Creative City)」と呼ばれており、近年の持続可能な都市経営モデルとして注目されています。

札幌市には、創造性を培う基盤となり、世界的にも評価の高い文化芸術に関係する施設やイベントが多数あります。文化芸術は、人々に感動を与え、その感動は人々を刺激し、新たな行動を起こすきっかけを作ります。また、その行動は、新たなコト、モノを生み出す創造的活動へとつながり、新たな経済を生み出す原動力となると考えます。

こうした札幌市の創造性を生み出す基盤を活用すると共に、創造都市の取り組みで魅力再生に成功した国内外の創造都市の事例を参考にしながら、札幌市としても創造都市を都市戦略として位置付け、積極的に取り組んで行くべきと考えます。「札幌国際芸術祭 2014」は、この「創造都市さっぽろ」の象徴的な事業として開催されます。

「ユネスコ創造都市ネットワーク」加盟について

札幌市は、2013年11月11日、世界41都市で構成される「ユネスコ (国際連合教育科学文化機関) 創造都市ネットワーク (メディア・アーツ都市)」の一員となりました。

メディア・アーツ創造都市は、現在、リヨン市 (フランス) とアンギャン＝レ＝バン市 (フランス)、そして札幌市の3都市です。

札幌市がユネスコから認定された「メディア・アーツ都市」は、都市そのものをメディア (媒介) としてとらえ、地域産業や国際観光交流の促進に貢献する新たなメディア技術を用いた文化芸術表現や、市民の自発的な表現活動とその経済活動の促進を目指すものです。

札幌における具体的な取り組みとしては、さっぽろ雪まつりにおける3Dプロジェクション・マッピングや札幌国際芸術祭における先端的なメディア・アートの企画展示、さらには都市環境全体を新たなメディア技術によって付加価値化する試み、ソーシャルメディアなどによるまちづくりへの市民参加の促進、そして都市環境問題を解決する様々な知恵と創意工夫を開発することでもあります。



United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization



SAPPORO

City of Media Arts
Designated UNESCO
Creative City in 2013

ユネスコ創造都市ネットワーク (UNESCO Creative Cities Network) は、文化芸術の7分野 (文学、映画、音楽、クラフト & フォークアート、デザイン、メディア・アーツ、食文化) の内のひとつに焦点をあて、それぞれの都市が創造的な施策を展開し、加盟都市相互の文化・経済交流を通して、次世代のクリエイティブ産業の振興や、未来の都市課題と向かい合い、都市の持続可能性に取り組むことを目的としています。

ロゴマークおよびキービジュアルについて

【ロゴマーク】

ロゴマークのデザインは、2012年12月19日から2013年2月11日までの55日間、一般公募を行いました。北海道内の幅広い層の方からご応募いただいた343作品（応募人数222人）の中から、SIAF2014ゲストディレクター坂本龍一氏の選考により決定いたしました。



ロゴマークは、SAPPOROの「S」をモチーフに開催テーマである「都市」と「自然」の融合を表現。テーマカラーは「樹と土」。

札幌国際芸術祭が、札幌の豊かな土壌の上に育つ樹々のように、札幌の都市と自然の中で、市民が参画しながら創造性を発揮し、社会を彫刻していく芸術祭となるよう、その継続性を象徴しています。

【キービジュアル】

札幌国際芸術祭2014

都市と自然

坂本龍一 (ゲストディレクター)

SAPPORO INTERNATIONAL ART FESTIVAL 2014

2014.7.19-9.28

人間と自然が共生する、新しい都市のかたちへ

CITY AND NATURE

RYUICHI SAKAMOTO

DIRECTOR

GUEST

札幌国際芸術祭実行委員会 事務局
〒060-0808 札幌市中央区南一条西10丁目1番1号 札幌コンベンションセンター5階
TEL 011-211-2314 FAX 011-218-5154
MAIL info@siaf.jp

SIAF
SAPPORO
INTERNATIONAL
ART FESTIVAL
2014

直線的な都市の写真と、曲線的な自然の写真。

これらは札幌の上空から撮影したものです。

線対称的な2つの風景は、今後、私たちの心のなかでより相反するものとして離れていくのでしょうか。

それとも少しずつ重なり合い融合していくのでしょうか。

都市と自然のあり方を問い、その未来を考え、自ら行動する機会を創出する

SIAF2014を象徴したビジュアルです。

開催テーマ

「都市と自然」

人間と自然が共生する、新しい都市のかたちへ
未来を展望する体験プログラム

エキシビション

美術館の企画展示をはじめ、
札幌の街なかや歴史的建造物、
公園を舞台にした
様々な作品を展開します。

■ グループ エキシビション

企画展示「都市と自然」

- アーティスト関連イベント/映画上映
SIAF2014 招待作品
「あなたの都市の上に草は生える」
- アーティスト関連イベント/シンポジウム
SIAF2014 特別シンポジウム
「中谷美二子：霧は語る」

チ・カ・ホ特別展示
「センシング・ストリームズ」

赤れんが特別展示
「伊福部 昭・掛川 源一郎」展

500m 美術館企画展示
「北海道のアーティストが表現する
「都市と自然」 - 「時の座標軸」 -」

■ エキシビション

坂本 龍一 + YCAM InterLab
「フォレスト・シンフォニー in モエレ沼」

大竹 伸朗「時憶/美唄」

島袋 道浩 (タイトル未定)

田島 一成「SAPPORO PROJECT」

パフォーマンス /ライブ

多彩な芸術表現の可能性を示すダンス、
パフォーマンスのほか、
ゲストディレクター自らが出演するライブ
などを展開します。

■ パフォーマンス

高谷 史郎「CHROMA」

Sidi Larbi Cherkaoui + Damien Jalet
「BABEL (words)」

■ ライブ

Alva Noto + Ryuichi Sakamoto
「S&S」

プロジェクト

参加・実践型のプロジェクト、
国際公募企画、ワークショップなど、
様々な形の参加型プログラムを
展開します。

■ プロジェクト

参加型プロジェクト「アート x ライフ」
コロガル公園 in ネイチャー
暮らしかた冒険家【hey, sapporo】

■ 国際公募

都市空間のサウンドコンペティション
■関連企画
坂本 龍一 ウェルカムサウンド
札幌市資料館リノベーションアイデア
コンペティション
■関連企画
SIAF2014 アクティビティ拠点プロジェクト

「エキシビション」「パフォーマンス/ライブ」「プロジェクト」といった全てのプログラムを通して、
市民や人々が「札幌」や「都市」のあり方を見つめ直していく「行為そのもの」が主役の芸術祭です。

企画展示「都市と自然」

Thematic Exhibition : City and Nature

- 日 程 : 2014年7月19日(土)～9月28日(日)
- 会 場 : 北海道立近代美術館 常設展示室
: 札幌芸術の森美術館
- 担 当 : 飯田 志保子(アソシエイト・キュレーター)

G-001



北海道立近代美術館

G-002



札幌芸術の森美術館

SIAF2014の中核となる現代アート展「都市と自然」では、国内外の現代アーティストの作品によって、北海道と日本の近代化の歩みと自然環境を振り返りながら、これからの札幌と北海道の自然、都市のあり方、エネルギー、暮らしを見つめ直します。

主会場となる二つの美術館では、それぞれの特徴と立地条件を活かした展示を行います。北海道立近代美術館の常設展示室1階は、テーマ「都市と自然」のなかでも都市化・近代化に焦点を当て、岡部昌生による大規模な夕張炭鉱遺構のフロタージュ作品に始まり、工藤哲巳やスボド・グプタによる迫力ある彫刻、そしてアンゼラム・キーファーのインスタレーションなどに至る作品群を展示予定。北海道の炭鉱史から原子力まで、エネルギーの転換期と、それを取り巻く環境や社会背景に関連した作品が並び、私たちの今の暮らしを支える近代化の過程を再考します。同展示室2階は、畠山直哉の写真と、札幌の自然環境を表象する「雪」をテーマに、アートとサイエンスの角度から都市と自然を見つめ直すセクションとなります。そこではカールステン・ニコライ、高谷史郎の雪にちなんだ作品の展示と共に、中谷宇吉郎博士の雪の結晶の写真のアーティストィックな評価を試みながら、「自然」に焦点を当てたもう一つの会場、札幌芸術の森美術館へと橋渡しをします。

札幌芸術の森美術館では、中谷芙二子の霧の彫刻の新作《FOGSCAPE #47412》が中庭に設置され、来場者を出迎える作品となります。館内では、砂澤ビッキの木彫、平川祐樹の新作映像インスタレーション、栗林隆の和紙を使ったインスタレーションそれぞれが、木や森をモチーフとした多様な表現を提示します。また、宮永愛子による器を用いたサウンド・インスタレーション「そらみみそら」の新作やカールステン・ニコライの巨大な新作映像作品《unicolor》は、違う位相にある時間の流れをつなぎながら、まるで地下から地上、そして宇宙へと広がるような深淵な空間を作り出し、より抽象的に悠久の自然を体感させます。最後にはトマス・サラセーノの新作彫刻と、松江泰治が札幌を撮り下ろした空撮写真が、再び「都市」へと鑑賞者を誘います。

また、敷地内に位置する旧有島武郎邸では、三原聡一郎による《鈴》の微細な音が、野外美術館の散策へと来館者を促しながら、人間と自然科学の関係について静かに問いかけます。

こうした二館での展示構成によって、本展では現代アートによる「沈黙のための空間」を創出しながら、「都市と自然」のテーマを体現します。

■参加アーティスト ※アルファベット順

スボド・グプタ (Subodh Gupta)
 畠山 直哉 (Naoya Hatakeyama)
 平川 祐樹 (Youki Hirakawa)
 アンゼラム・キーファー (Anselm Kiefer)
 工藤 哲巳 (Tetsumi Kudo)
 栗林 隆 (Takashi Kuribayashi)
 松江 泰治 (Taiji Matsue)
 三原 聡一郎 (Soichiro Mihara)
 宮永 愛子 (Aiko Miyanaga)
 中谷 芙二子 (Fujiko Nakaya)
 中谷 宇吉郎 (Ukichiro Nakaya)
 カールステン・ニコライ (Carsten Nicolai)
 岡部 昌生 (Masao Okabe)
 トマス・サラセーノ (Tomás Saraceno)
 砂澤 ビッキ (Bikky Sunazawa)
 高谷 史郎 (Shiro Takatani)

■会場構成 (北海道立近代美術館ほか)

青木 淳+丸田 絢子 (Jun Aoki + Ayako Maruta)

事業概要 _ エキシビション

企画展示「都市と自然」 Thematic Exhibition : City and Nature

G-003



島山 直哉 (Naoya Hatakeyama)
《テリル》2009
作家蔵
Courtesy of Taka Ishii Gallery

G-004



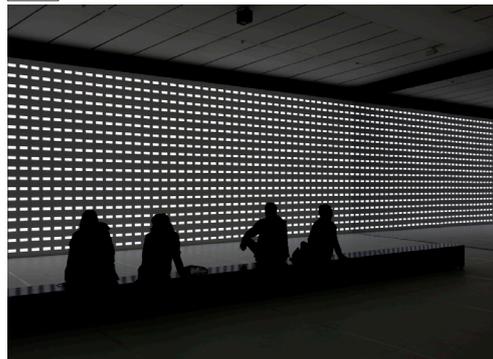
アンゼラム・キーファー (Anselm Kiefer)
《メランコリア》1989
福岡市美術館での展示風景
福岡市美術館蔵
Photo: 山崎信一

G-005



中谷 美二子 (Fujiko Nakaya)
〈参考作品〉
《Fog Sculpture #47636 "風の記憶"》2013
豊田市美術館での展示風景
Photo: 谷川寛

G-006



カールステン・ニコライ (Carsten Nicolai)
〈参考作品〉
《unidisplay》2012
Museum für Modern Kunst Frankfurt am Main (MMK) での展示風景
Photo: Axel Schneider
©Courtesy Galerie EIGEN+ART Leipzig/Berlin / JASPAR, Tokyo, 2014

G-007



岡部 昌生 (Masao Okabe)
〈参考作品〉
壁面: 《雄別炭礦病院屋上遺構》2009
床面: 《北海道炭礦汽船真谷地炭礦電力所遺構》1998
「岡部昌生フロッタージュ・プロジェクト雄別炭礦を掘る」展での展示風景 (釧路市立美術館 2009)
Photo: 港千尋

G-008



トマス・サラセーノ (Tomás Saraceno)
〈参考作品〉
《アルミニウム・クラウド - 6 モジュール》2013
エスター・シッパー (ベルリン) での展示風景
Photo: © Andrea Rossetti
Courtesy of the Artist and Esther Schipper, Berlin

事業概要 _ エキシビジョン

企画展示「都市と自然」 Thematic Exhibition : City and Nature

アーティスト関連イベント (映画上映)

SIAF2014 招待作品「あなたの都市の上に草は生える」

原題 : Over Your Cities Grass Will Grow

■日程/会場 : 2014年7月19日(土) / 北海道立近代美術館 講堂

7月20日(日) / 北翔大学北方圏学術情報センター「ポルト」

G-009

アンゼラム・キーファーとソフィー・ファインズ
Photo: Anton Corbin

本作はアンゼラム・キーファーの作品を通じて、世代を代表するドイツ人アーティストの創造の過程に入り込みます。1993年、キーファーは母国ドイツを離れ、南仏ラングドック地方のバルジャック村に移り住みました。彼は遺棄された35ヘクタールに及ぶ絹工場跡地の上にアトリエ「La Ribotte(ラ・リボット)」を建てました。

カメラは、キーファーの創造を支える“集積空間”の中に入り、巨大なトンネルの迷宮や地下空間、池や洞窟、そして森へ分け入り、城塞のように積み重なったコンクリートの塔が点在する広大な風景に到達します。監督ソフィー・ファインズはシネマスコープで撮影し、緩やかな視点と観察眼的な探索を交差させます。これによりキーファーのドラマティックな芸術性と、創造プロセスの親密さが同時に実感できる「参加型ドキュメンタリー」となっています。時間と空間の両極性が本作を生き生きとさせ、何層にも重なった語り口を生み出します。ここでは創造と破壊は相互に依存しています。本作はキーファーが絵画や彫刻に使う鉛、コンクリート、灰、酸、土、ガラスや金などの素材にも直接触れていきます。

2010年カンヌ映画祭特別招待作品

日本初公開作品

監督・脚本・撮影：ソフィー・ファインズ

制作国：イギリス、フランス、オランダ

制作年：2010年

上映時間：105分

○監督：ソフィー・ファインズ (Sophie Finnes)

1967年イギリス、サフォーク生まれ。『数に溺れて』、『コックと泥棒、その妻と愛人』と言った作品でピーター・グリーナウェイに助監督として師事し、以後バリエ界の異端児マイケル・クラーク、アラン・プラテルを題材としたドキュメンタリーを発表、世界的に高い評価を得ている。俳優のレイフ・ファインズ、ジョセフ・ファインズの妹にあたる。独創的な思想家であり、ラカン派精神分析家として知られるスラヴォイ・ジジエクと共に、彼が40本以上の歴史的な作映画の映像を引用し、まったく新しい映画の見方を提示するドキュメンタリー『倒錯者のためのイデオロギー・ガイド』を監督し、これは日本公開された。ソフィーは、2009年、ロッテルダムのシネマートで、フランス映画賞を受賞。本作は、2010年カンヌ映画祭特別招待作品。

○フィルモグラフィ

- ・The Pervert's Guide to Ideology (documentary, 2012)
- ※The Pervert's Guide to Cinema の続編
- ・スラヴォイ・ジジエクによる倒錯的映画ガイド (documentary, 2010)
- ・Tanz und Ekstase: Alain Platel's VSPRS (TV, 2007)
- ※アラン・プラテルのドキュメンタリー
- ・The Pervert's Guide to Cinema (film essay, 2006)
- ・Hoover Street Revival (feature documentary, 2003)
- ・Because I Sing (documentary, 2001)
- ・マイケル・クラーク / The Late Michael Clark (2000)
- ・Lars from 1-10 (1998)
- ※ラース・フォン・トリアーのドキュメンタリー

SIAF2014 開催記念として各地で上映を実施

■日程/会場:

2014年7月19日(土) ~ 22日(火) / シアター・イメージフォーラム (東京)

7月26日(土) / 山口情報芸術センター [YCAM]

8月24日(日) / 旧住友別荘炭鉱跡地 ほか

アーティスト関連イベント (シンポジウム)

SIAF2014 特別シンポジウム「中谷 芙二子：霧は語る」

■日程 : 2014年8月23日(土)

■会場 : 北翔大学北方圏学術情報センター「ポルト」

■出演者 : [第1部] 中谷 芙二子 聞き手: 難波 祐子

[第2部] 坂本 龍一、中谷 芙二子、高谷 史郎、岡崎 乾二郎 モデレーター: 浅田 彰

本シンポジウムでは、近年、再び国内外で大きな注目を集めている中谷の霧について、中谷自身の言葉で語るほか、SIAF2014 ゲストディレクター坂本龍一、中谷との共同作品も多いダムタイプの高谷史郎、造形作家/批評家の岡崎乾二郎、そして批評家の浅田彰を交え、様々な角度からこの「無数の水の微粒子たち」のつくりだす「軽快な運動」(岡崎乾二郎) が切り拓く可能性について語り合います。

事業概要 _ エキシビション

チ・カ・ホ特別展示「センシング・ストリームズ」

Sensing Streams

- 日 程 : 2014年7月19日(土)～9月28日(日)
- 会 場 : 札幌駅前通地下歩行空間(チ・カ・ホ)ほか
- 担 当 : 四方 幸子(アソシエイト・キュレーター)

G-010



札幌駅前通地下歩行空間(チ・カ・ホ)

札幌駅と直結し、地下鉄大通駅に通じる展示機能を備えた約500mにわたる地下歩行空間(チ・カ・ホ)で展開する「センシング・ストリームズ」は、社会や都市環境に浸透し、人々をつなぎはじめた新たな層としての情報技術に注目、複数のアーティストが自然や都市におけるさまざまな情報の流れ(ストリームズ)を感知(センシング)し、可視化・可聴化していく作品で構成されます。

地上になだらかな扇状地、地下に水脈をもつ札幌は、連続した自然の循環のなかで培われてきた水脈豊かな都市です。南に位置する奥定山溪の森の大量の雪に由来する水が、うねりながら海へと注ぐ豊平川や扇状地の先端部分に13カ所の「メム(湧水)」を生み出しました。そしてメムの畔にはアイヌの人々が集落を形成し、生活を営んできました。明治以降の都市化を受けてメムは失われたものの、札幌は現在も各所に豊かな自然を保持しています。

1日7万人を超える人々が利用するチ・カ・ホは、メムがあった地域に隣接しています。この地下の人工空間にも、かつては豊かな水が流れていたことでしょうか。

「センシング・ストリームズ」は、地下水脈、人々の流れ、電磁波の変化など、札幌の過去や現在にアートを通して新たに出会う場となります。それはまた、古生物学、北方文化など、地球史・人類史的な側面から札幌の見えざる側面を発見していく契機となるでしょう。

このチ・カ・ホには、SIAF2014への来場者を最初に歓迎する場としてインフォメーションセンターを設けるとともに、

「センシング・ストリームズ」の展示を中心に、映像上映や写真の展示トーク、ライブ、そして地元のアーティストや学生の作品展示など多彩な催しが会期を通じて展開されます。

■参加アーティスト ※アルファベット順

A.P.I. (アークティック・パースペクティブ・イニシアティブ)
(Arctic Perspective Initiative)
アンティエ・グライエ=リパッティ (AGF)
(Antye Greie-Ripatti aka AGF)
ジョン・ピョンサム (Byeong Sam Jeon)
※札幌市姉妹都市で、大田(テジョン) 広域市より参加
菅野 創 / yang02 (So Kanno / yang02)
毛利 悠子 (Yuko Mohri)
パク・ジョンソン (Jungsun Park)
※札幌市姉妹都市で、大田(テジョン) 広域市より参加
坂本 龍一 + 真鍋 大度
(Ryuichi Sakamoto + Daito Manabe)
セミトランスペアレント・デザイン
(Semitransparent Design)
進藤 冬華 (Fuyuka Shindo)
露口 啓二 (Keiji Tsuyuguchi)
山川 冬樹 (Fuyuki Yamakawa)

○各種イベントの開催 ■会 場 : 札幌駅前通地下歩行空間(チ・カ・ホ)北3条交差点広場

北3条交差点広場の既設スクリーンでは、複数の映像プログラムを特定の時間に上映します。コンテンツは、国内外の映像コンペティション受賞作品、北海道のアーティストによる映像作品、札幌のアーカイブ映像など。また、北3条交差点広場では、週末を中心にメディア・アート、サイエンス、短編映画など多岐にわたるイベントやライブを開催します。

○市民写真公募プログラム ■会 場 : 札幌駅前通地下歩行空間(チ・カ・ホ)北2条交差点広場

札幌市民からテーマを設定して写真を募集。選考された作品をチ・カ・ホ北2条交差点広場 CGM デジタルサイネージ「Sapporo*north2」を用いて発表します。市民が参加しやすいよう、写真の募集方法についてはメールによる投稿システムを採用する予定です。

○学生などによるインスタレーション ■会 場 : 札幌駅前通地下歩行空間(チ・カ・ホ)

SIAF2014のテーマに沿った展示を札幌市内の学生などが行います。一定期間ごとに展示を変えることで、通勤通学にチ・カ・ホを利用している市民に対しても新鮮な楽しみを継続的に提供します。

事業概要 _ エキシビション

チ・カ・ホ特別展示「センシング・ストリームズ」Sensing Streams

G-011



A.P.I. (アークティック・パースペクティブ・イニシアティブ)
(Arctic Perspective Initiative)

〈参考作品〉

《HERVE PANIAQ, FoxwBasin, August 2009》

G-012



菅野 創 / yang02 (So Kanno / yang02)

〈参考作品〉

《SENSELESS DRAWING BOT #2》2013

3331 ギャラリーでの展示風景

Photo: So KANNO

G-013



毛利 悠子 (Yuko Mohri)

〈参考作品〉

《I/O (アイ・オー)》2011-2013

せんだいメディアテークでの展示風景

Photo: Sendai Mediatheque

G-014



真鍋 大度 (Daito Manabe)

〈参考作品〉

Rhizomatiks 《pulse 3.0》

写真提供: 山口情報芸術センター [YCAM]

Photo: Ryuichi Maruo (YCAM)

G-015_2



進藤 冬華 (Fuyuka Shindo)

〈参考作品〉

《関連部分を集める》2013

G-016



山川 冬樹 (Fuyuki Yamakawa)

〈参考作品〉

《Shibuya Water Witching》2013

赤れんが特別展示 「伊福部 昭・掛川 源一郎」展

Akira Ifukube and Genichiro Kakegawa, Two Great Men of Hokkaido

- 日 程 : 2014年7月19日(土)～9月28日(日)
- 会 場 : 北海道庁赤れんが庁舎
- 担 当 : 飯田 志保子(アソシエイト・キュレーター)
- 会場デザイン: オリバー・フランツ(silent. 創始者)
- 企画協力: 小室 治夫(掛川源一郎写真委員会代表)

G-017



北海道庁赤れんが庁舎

「赤れんが」の愛称で北海道民や観光客に親しまれている北海道庁旧本庁舎。北海道の重要な歴史的・文化的建築物の一つです。SIAF2014で展開される多様な事業に共通するのは、日本の近代化の象徴として北海道をとらえ、その様々な歴史を記憶すること。そのなかで赤れんがでは、北海道に縁の深い二人の重要な先人の文化的功績に再び光を当てる展覧会を開催します。

一人は室蘭市に生まれた写真家の掛川源一郎(1913-2007)。アイヌ民族の暮らし、風俗、自然との関わり、そして北海道の近代風景を捉えた写真によって、SIAF2014のテーマ「都市と自然」の背景にある近代と現代を結びます。

もう一人は釧路市が輩出した日本の現代音楽を代表する作曲家の一人で、ゴジラの映画音楽で知られる伊福部昭(1914-2006)。伊福部は、子どものころにアイヌの人々と接するなかで彼らの生活・文化に共感し、それが以後の楽曲に大きな影響を与えています。そのアイヌ民族との深い関わりは、掛川源一郎の写真とも共鳴します。

美術館で開催される現代アート展の背景に横たわる北海道の近代史を、赤れんがの展覧会ではまた違った角度から映し出します。

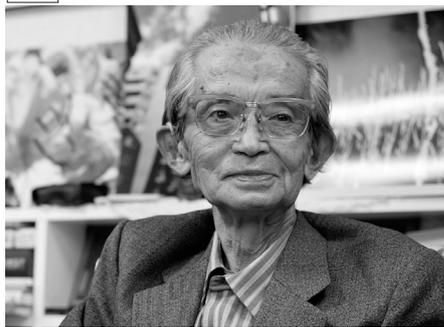
G-018



伊福部 昭 (Akira Ifukube)

© 勇崎哲史 1997

G-019



掛川 源一郎 (Genichiro Kakegawa)

© 掛川源一郎写真委員会

事業概要 _ エキシビション

500m 美術館企画展示

「北海道のアーティストが表現する「都市と自然」 — 「時の座標軸」 —

Coordinate Axes of Time: City and Nature Presented by Artists from Hokkaido

■日 程 : 2014年7月19日(土) ~ 9月28日(日)

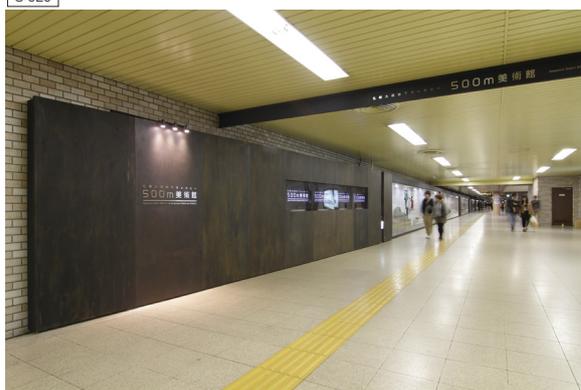
■会 場 : 札幌大通地下ギャラリー 500m美術館

■担 当 : 端 聡 (地域ディレクター)

■500m美術館部会 : 北海道大学教授 北村 清彦、北海道教育大学教授 三橋 純予、
北海道立近代美術館学芸部長 柴 勤、札幌芸術の森美術館副館長 吉崎 元章

SIAF2014のテーマ「都市と自然」は、アートを媒介し、これからの都市と自然の共生や人間の未来を考える契機と理解できます。このテーマに呼応して、札幌の地下空間に開設された500m美術館では、都市化の象徴でもある地下空間から、わずか100年で地上に形成された札幌都市空間と、膨大な時間と共に横たわる自然環境との新たな観点を見出すことを考えました。札幌は、東西の横軸と南北の縦軸によって整然と区画づけられた都市ですが、近年、第三の座標軸が整備されつつあります。それは天を突き、地を穿つ垂直軸です。高層ビルや地下歩行空間もまた確かに近代化の所産ではありますが、それは単に空間を上下に広げるだけではありません。夜空の星の煌めきは何億光年も経て今私たちに届けられ、また地層とは時間の襞が幾重にも積み重なって形成されたものです。つまりこの第三の座標軸には時間が宿されているのです。アートがもし「都市」と「自然」の共生を実現できるとすれば、それはアートがこうした文化の精華として時間の厚みを体現するものだからです。この第三の座標軸に位置する500m美術館では、同時代を生きる北海道や札幌ゆかりのアーティストたちが、札幌の時間軸を内包しつつ「都市と自然」の物語を紡ぎ出します。

G-020



札幌大通地下ギャラリー 500m美術館
Photo: YOSHISATO KOMAKI

■参加アーティスト

伊藤 隆介 (Ryusuke Ito)

上遠野 敏 (Satoshi Katono)

高田 洋三 (Yozo Takada)

武田 浩志 (Hiroshi Takeda)

G-021



伊藤 隆介 (Ryusuke Ito)

〈参考作品〉

《Free Fall (自由落下)》2012

「イメージフォーラム・フェスティバル2012」での展示風景
(パークタワーホール/東京ほか)

G-022



上遠野 敏 (Satoshi Katono)

〈参考作品〉

《奔愛 (Pon Love)》2013

「旧住友炭鉱ホッパー (三笠市)」での展示風景

Photo: yuki naka

事業概要 _ エキシビジョン

坂本 龍一 + YCAM InterLab
「フォレスト・シンフォニー in モエレ沼」

Ryuichi Sakamoto + YCAM InterLab “Forest Symphony in Moerenuma”

- 日 程 : 2014年7月19日(土)～9月28日(日)
- 会 場 : モエレ沼公園 ガラスのピラミッド「HIDAMARI」
- 協 力 : 山口情報芸術センター [YCAM]
- 担 当 : 四方幸子 (アソシエイト・キュレーター)

G-023

モエレ沼公園
ガラスのピラミッド
「HIDAMARI」

「木は光合成によって太陽光をエネルギーに換える、つまり電磁波をとらえる天才。その周期性を音楽にしてみたい」

— 坂本 龍一

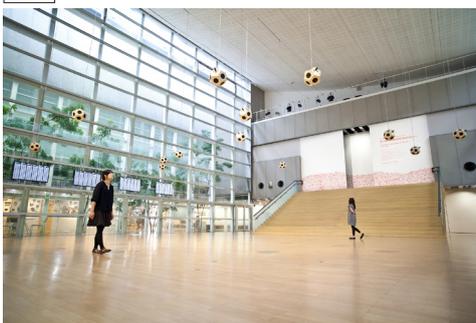
森林や樹木の存在に深い興味を抱いてきた坂本龍一が、東日本大震災以降、その関心を具体的な芸術表現として示したプロジェクト「Forest Symphony (フォレスト・シンフォニー)」。森林をはじめとした人類が生きる環境に目を向けることを意図して構想された「Forest Symphony」は、山口情報芸術センター [YCAM] の YCAM InterLab とのコラボレーションにより技術開発を進め、昨年開催された YCAM10 周年記念祭の中心的なプロジェクトとして発表されました。

樹木の生体電位をデータとして取得・集積・解析し、音楽へと変換、空間全体でシンフォニーとして体験できるインスタレーションとして展開、加えてウェブサイトでデータが公開されます。YCAMでは、世界各地(8カ所)からデータを取得、《フォレスト・シンフォニー in モエレ沼》では、札幌市内、北海道内を含め国内外の約10カ所からデータを取得、モエレ沼公園(基本設計:イサム・ノグチ)内の中心施設、ガラスのピラミッド「HIDAMARI」で SIAF2014 バージョンとして発表されます。

G-025

〈参考写真〉
山口市の出雲神社の樹木(撮影:高谷史郎)
写真提供:山口情報芸術センター [YCAM]

G-024

〈参考写真〉
坂本龍一 + YCAM InterLab
《Forest Symphony (フォレスト・シンフォニー)》2013
写真提供:山口情報芸術センター [YCAM]

■参加アーティスト

坂本 龍一 + YCAM InterLab (Ryuichi Sakamoto + YCAM InterLab)

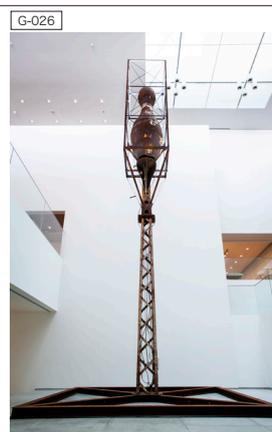
- ディレクション/音楽: 坂本 龍一 (Ryuichi Sakamoto)
- テクニカル・ディレクション/研究開発: YCAM InterLab
- ビジュアル・ディレクション: 高谷 史郎 (Shiro Takatani)

大竹 伸朗「時憶／美唄」 Shinro Ohtake “Time Memory / BIBAI”

■日 程 : 2014年7月19日(土)～9月28日(日)

■会 場 : 札幌市資料館

大竹伸朗は、1970年代に北海道別海町のウルリー牧場で一時期を過ごし、以来、ことあるごとに北海道を訪れています。あるときの移動の途中に大竹に発見された拾得物を使って制作された作品「時憶／美唄」。この作品は2013年に丸亀市猪熊弦一郎現代美術館における個展「大竹伸朗ニューニュー」で発表されました。本州四国での公開を経て、SIAF2014では屋外作品として再構成され再び北海道へ。我々が生きていること生きていくことを問いかけるSIAF2014の中で、本作はどこかで見たような、だがこれまでだれも見たことのない風景を見せてくれることでしょう。



大竹 伸朗 (Shinro Ohtake)
《時憶／美唄》2013
丸亀市猪熊弦一郎現代美術館での
展示風景
Photo: 山本真人
©Shinro Ohtake

島袋 道浩 (タイトル未定) Shimabuku (Title undecided)

■日 程 : 2014年7月19日(土)～9月28日(日)

島袋道浩は2013年8月にSIAF2014での新作のリサーチのためSIAF2014ゲストディレクター坂本龍一と共に札幌を訪れました。開催期間中に発表される作品は、数回にわたる札幌での滞在を通じたアーティストの体験をもとに石を使った新作を発表します。公開は、都心エリア・屋外を予定しています。



島袋 道浩 (Shimabuku)
Photo: 金 玖美

田島 一成「SAPPORO PROJECT」

tajima kazunali “SAPPORO PROJECT”

- 日 程 : 2014年7月19日(土) ~ 9月28日(日)
- 会 場 : 札幌市内各所
- 担 当 : 四方 幸子(アソシエイト・キュレーター)

運輸、エネルギー、水、食、通信…。都市や人々の生活は、さまざまなインフラが存在し機能することで成り立っています。写真家・田島一成が、年間6mもの降雪量がある都市・札幌や北海道のインフラを支える場所や物、システムを撮り下ろした作品群は、ふだん私たちの目に触れることがほとんどない大都市の隠れた諸相をあらわにします。会期中、写真はポスターなどのかたちをとり、SIAF2014会場に加え、札幌市内各地に現れます。都市の隠れたインフラを、都市の中で顕在化させるプロジェクトです。



田島 一成 (tajima kazunali)
Photo: tajima kazunali

事業概要 _ パフォーマンス / ライブ

クロマ

高谷 史郎「CHROMA」

Shiro Takatani「CHROMA」

■日 程 : 2014年7月26日(土)、7月27日(日)

■会 場 : 札幌市教育文化会館 大ホール

2012年に滋賀県立芸術劇場びわ湖ホールとダムタイプオフィスの共同制作で初演、2013年にはフランスのマルセイユ・フェスティバルで上演し好評を得た本作品。デレク・ジャーマンの映画音楽でも知られる音楽家サイモン・フィッシャー・ターナーをはじめ、ダンサー、ミュージシャン、プログラマー、映像クリエイターなど、様々なアーティストが参加する国際プロジェクトです。「CHROMA(クロマ)」とは「色彩」のことであり、アーティストレス、レオナルド・ダ・ヴィンチ、ヴィトゲンシュタインなどの色彩にまつわる言説を引用しつつ、デレク・ジャーマンがエイズによって視力を失いながらも死の直前に書いた自伝的遺作「CHROMA」を原点としています。

現代のダンス、パフォーマンス芸術の新たな可能性を開拓したこの作品は、SIAF2014が多彩な芸術表現の可能性を示すという意味で、とりわけ舞台芸術の領域における重要な位置付けとなっています。道内初公演。

G-029

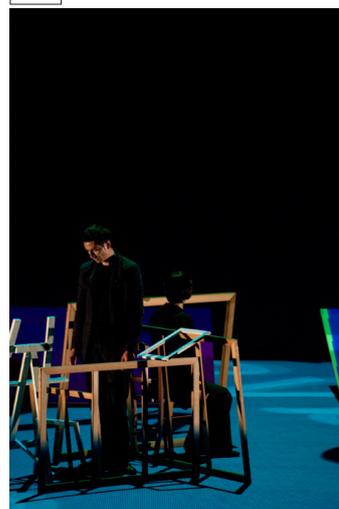


Photo: KAZUO FUKUNAGA

■クリエイションメンバー

総合ディレクション：高谷 史郎

出演：藪内 美佐子、平井 優子、オリビエ・バルザリーニ、
アルフレッド・バーンバウム

音楽：サイモン・フィッシャー・ターナー、
南 琢也、原 摩利彦

メディア・オーサリング：古舘 健

照明：吉本 有輝子

映像技術：山田 晋平

コンセプチュアル・コラボレーション：泊 博雅

舞台監督：大鹿 展明、尾崎 聡

G-030



高谷 史郎 (Shiro Takatani)

事業概要 _ パフォーマンス / ライブ

シディ・ラルビ・シェルカウイ

ダミアン・ジャレ

Sidi Larbi Cherkaoui + Damien Jalet

バベル ワーズ
「BABEL (words)」

■日 程 : 2014年8月22日(金)

■会 場 : さっぽろ芸術文化の館 ニトリ文化ホール

「バベル(ことば)」とは旧約聖書の「バベルの塔」の物語に由来。民族、テリトリー、様々な言語、国家のアイデンティティといった問題が、鋭く、時にはユーモラスに、10以上の国々から参加する多国籍なダンサーとミュージシャンらによって描かれます。彫刻家アントニー・ゴームリーによる5つの大きな直方体フレームの舞台装置が、パフォーマーたちによって次々とフォーメーションを変え、領土、陣地、自室、リングなど、自と他を分かつ見えない壁や境界となります。

「Foi」「Myth」に続くシェルカウイ三部作の完結編でもあり最高傑作である本作は、現代のダンス、パフォーマンス芸術の新たな可能性を開拓しており、多彩な芸術表現の可能性を示す上で、SIAF2014での舞台芸術領域における重要な位置付けとなっています。日本初公演。

G-031



BABEL (words)

© Koen Broos

G-032



Sidi Larbi Cherkaoui + Damien Jalet

© Koen Broos

SIAF2014 開催記念となる東京公演を特別に上演

札幌国際芸術祭 2014 記念特別公演

Sidi Larbi Cherkaoui + Damien Jalet 「BABEL (words)」

■日程 : 2014年8月29日(金) ~ 8月31日(日)

■会場 : 東急シアターオーブ(東京都渋谷区)

■チケット一般発売日: 2014年4月19日(土)

■主催 : TBS テレビ、PROMAX

※ 東京公演に関するお問い合わせ先: サンライズプロモーション東京 TEL: 0570-00-3337 (10:00 ~ 19:00)

■公演情報 URL : www.tbs.co.jp/event/babel2014/
www.promax.co.jp/info/2014/082901/

事業概要 _ パフォーマンス / ライブ

アルヴァ・ノート
Alva Noto + Ryuichi Sakamoto
「S & S」

- 日 程 : 2014年9月27日(土)
■会 場 : 札幌市教育文化会館 大ホール

二人の出会いは、ニコライ(アルヴァ・ノート)が初の日本ツアーで東京を訪れたとき。その一年後、ニコライは雑誌「code unfinished」のためのリミックスを坂本から依頼される事になる。

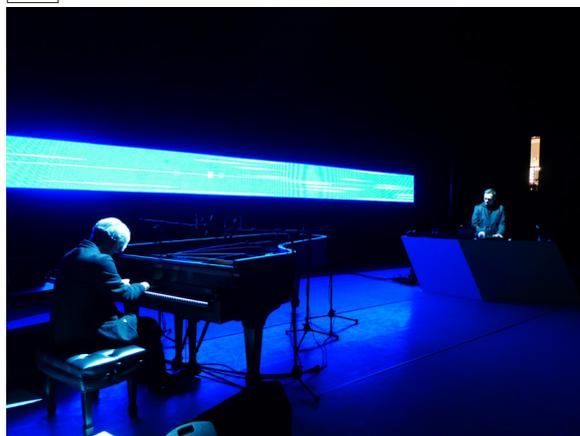
ニコライは語る「…与えられた素材は既にデジタル処理でレイヤー化されていたんだ。すっきりとした短いピアノの曲から最初の一曲を作った。それらのシンプルなピアノのコードをクリアなリズムの配置と組み合わせで。…どういうわけかリュウイチはとても驚いて、そして私の仕事をとても気に入ってくれた。その数週間後、彼がこのプロジェクトのために録音した新たなトラックを送ってきてくれたんだよ。」

これが2002年に発売されることになる最初のアльバム「vrioon」のための、おおよそ2年間に渡る音のやり取りと創作のプロセスの始まりだった。この作業を通して、世代の異なる二人のアーティストが出会い、電子音楽についての考え方を共有することでインスピレーションが生まれ、新たな音楽的ストラクチャーを生み出していくこととなった。3枚のオリジナルアルバム、1枚のEPアルバムとアンサンブル・モデルナと共演したアルバム+DVD作品などをリリースし、主にヨーロッパを中心に南米、北米でのツアーを重ねてきた。

2011年に発表した最新作「summv3」を披露する「s」ツアーは円熟したコラボレーション・パフォーマンスの最高傑作と評され、世界各地で高い評価を受けています。

SIAF2014のクロージングを飾るプログラムとして、日本初上陸となる「s」ツアーをSIAF2014のためにバージョン・アップした「S&S」(SIAF2014のために書き下ろした新作を含む)を開催します。

G-033



Alva Noto + Ryuichi Sakamoto

参加型プロジェクト「アート × ^{バイ} ライフ」
ART x LIFE

- 日 程 : 2014年7月19日(土) ~ 9月28日(日)
- 会 場 : 札幌市資料館
札幌駅前通地下歩行空間(チ・カ・ホ) ほか
- 担 当 : 四方 幸子(アソシエイト・キュレーター)

「アート×ライフ」は、SIAF2014のサブテーマ「自然」「都市」「経済・地域・ライフ」の実践的展開として、アーティストと人々、人々同士をつなげることで、誰もが創造的にふるまっていくことを喚起するアート&ソーシャル・プロジェクトです。

エキソニモは人々が仮想的に埋められた通貨を専用アプリで掘り起こす参加型プロジェクト《MoneyFinder Sapporo(仮)》を、IDPWは《インターネットヤミ市》を展開予定。インターネットヤミ市は、「インターネットに関するものを直接売買する」というテーマのもとデータ流通/販売の新しいあり方を実現する、フリーマーケット形式のイベントです。

深澤孝史は、誰でも得意なことを「銀行」に預け引き出せるプロジェクト「とくいの銀行」(2011年に茨城県取手市で開始・継続中、昨年山口情報芸術センター[YCAM]主催で山口版を実施)を、札幌の地で新たな発想のもと《とくいの銀行 札幌(仮)》として展開します。札幌の開拓使時代へと遡る「とくいの銀行 札幌支店 since1869」と「札幌市開拓資料館」で構成、開拓時代の「とくい」を想像し預けたり、それらを引き出しドキュメントすることで資料館の展示が増えていきます。

「さっぽろリビング・ライブラリー(SLL)」は、人々が本を再発見・活用していくシェア&交換プロジェクト。札幌市内複数箇所にステーションを持ち(空間デザイン:札幌を拠点にするクリエイター集団 COMMUNE)、自由に本を閲覧し、持参の本と交換したり、感想を共有したりと本を介したコミュニケーション回路が開かれます。そこでは人々もさまざまな情報を処理・記憶・発信する「リビング・ライブラリー」と見なされます。

■参加アーティスト ※アルファベット順

COMMUNE (COMMUNE)
エキソニモ (exonemo)
深澤 孝史 (Takafumi Fukasawa)
IDPW (アイバス) (IDPW)

G-034



エキソニモ (exonemo)
Photo: Nonoko Kameyama

G-035



IDPW (アイバス)

G-036



深澤 孝史 (Takafumi Fukasawa)
写真提供:
山口情報芸術センター [YCAM]

G-037



COMMUNE

コロガル公園 in ネイチャー Korogaru Park in Nature

- 日 程 : 2014年7月19日(土) ~ 9月28日(日)
- 会 場 : 札幌市資料館
- 担 当 : 四方 幸子 (アソシエイト・キュレーター)
- 協 力 : 山口情報芸術センター [YCAM]

2012年に山口情報芸術センター [YCAM] で発表された「コロガル公園」は、不定形で起伏のある木の空間に、マイクやLED照明など「メディア」を使った仕掛けをもつことで、子どもたちが新しい動きや遊びのルールを生み出すことを触発するインスタレーションです。SIAF2014では、この「コロガル公園」が、初の屋外バージョンとして、大通公園の西に位置する札幌市資料館の庭にこれまでないかたちで出現します。設計は、北海道を拠点に国内外で活躍する建築家・五十嵐淳。都心にありながら緑豊かな環境と呼応させるべく、自然素材を活用した「公園」が構想されています。

会期中には、ワークショップ「子どもあそびばミーティング」を複数回開催予定。追加したい遊びや機能を話し合うことで、期間中にアイデアがコロガル公園に反映されていく予定です。日差しや風など、刻々と変化する環境の中、子どもたちが、自然、自分たち、そしてメディアと向き合いながらそれらを創造的に結びつけていくユニークな機会を創出することになるでしょう。

■参加アーティスト

YCAM InterLab + 五十嵐 淳 (YCAM InterLab + Jun Igarashi)

- ディレクション/研究開発: YCAM InterLab
- 設計: 五十嵐 淳
- メディア・ディレクション: 杉本 達應、須之内 元洋、棟方 渚

G-038



札幌市資料館裏庭

G-039



〈参考写真〉
《コロガル公園》2012
写真提供: 山口情報芸術センター [YCAM]

G-040



〈参考写真〉
YCAM + assistant 《コロガルパビリオン》2013
写真提供: 山口芸術情報センター [YCAM]

暮らしかた冒険家【hey, sapporo】 Lifestyle Adventurer【hey, sapporo】

■日 程 : 2014年7月19日(土)～9月28日(日)

暮らしかた冒険家(池田秀紀、伊藤菜衣子)は、「私たちの暮らしはいつだって不安だったのかもしれない。だから進化してきたのかもしれない。いまある社会の問題と向き合って、私たちがこれからどんな暮らしかたが幸せなのか?を模索していきます。」という宣言をしています。

今回は、暮らしかた冒険家が【札幌で暮らすこと】で SIAF 2014 に参加します。

【高品質低空飛行】な暮らしをモットーに「たべもの」「お金」「近所」「仕事」「インターネット」を見つめ直し、15年後の私たちの暮らしのあり方を冒険します。



暮らしかた冒険家 (Lifestyle Adventurer)

© 暮らしかた冒険家

都市空間のサウンドコンペティション Urban Soundscape Competition

- 日 程 : [募集期間] 2014年2月1日(土) ~ 3月31日(月)
[作品展示期間] 2014年7月19日(土) ~ 9月28日(日)
- 会 場 : 札幌市資料館
札幌駅前通地下歩行空間(チ・カ・ホ)
札幌芸術の森美術館

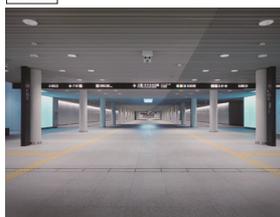
SIAF2014のテーマを象徴し、都市の公共空間にふさわしい音の作品を、国際コンペティション形式で世界中から広く募集します。SIAF2014ゲストディレクター坂本龍一が厳正に審査を行い、受賞作品1点が選出されます。受賞作品は、SIAF2014開催にあわせて市内各所の芸術祭拠点(札幌市資料館、札幌駅前通地下歩行空間(チ・カ・ホ)、札幌芸術の森美術館など)に設置され、札幌の公共空間の音として継続的に機能していくことを目指しています。受賞者は札幌へ招待され、贈呈式にて表彰が行われる予定です。

G-042



札幌市資料館

G-010



札幌駅前通地下歩行空間(チ・カ・ホ)

G-002



札幌芸術の森美術館

関連企画

坂本 龍一 ウェルカムサウンド

Ryuichi Sakamoto - Welcome Sound

- 日 程 : 2014年7月19日(土) ~ 9月28日(日)
- 会 場 : 新千歳空港

SIAF2014の開催にあわせて、国内外からお越しになるお客様を歓迎するためのウェルカムサウンドを、北海道の空の玄関口である新千歳空港に設置します。本作品は、SIAF2014ゲストディレクター坂本龍一が自ら制作を担当し、新千歳空港の場所性や環境に調和するように制作・設置されます。北海道への来訪者を歓迎し、北海道の体験とともに人々の記憶に刻まれる本作品は、公共空間の音に対する先駆的な提案です。

G-043



写真提供: 北海道空港株式会社

札幌市資料館 リノベーションアイデアコンペティション

Competition for Ideas on Renovating the Former Sapporo Court of Appeals (a.k.a. Shiryokan)

- 日 程 : 登録期間 / 2013年12月1日(日) ~ 2014年3月31日(月)
作品募集期間 / 2014年3月1日(土) ~ 4月30日(水)
作品展示期間 / 2014年7月19日(土) ~ 9月28日(日)
- 会 場 : 札幌市資料館
- 担 当 : 端 聡 (地域ディレクター)

G-042



札幌市資料館

札幌市資料館リノベーションアイデアコンペティションは、SIAF2014 ゲストディレクター坂本龍一から提案を受けて、歴史的建造物である札幌市資料館を、次代のアートや新しい創造性を発信できる場として活用するためのアイデアを国内外から募るものです。募集するアイデアとして創造性(クリエイティビティ)、公共性(パブリック)、記録の保存活用(アーカイブ)、先進的技術(テクノロジー)を意識した機能を内包する活用方法を求めます。

コンペティションでの優秀なアイデアは、SIAF2014 期間中に札幌市資料館で展示されると共に、最も優秀なアイデアは坂本龍一から札幌市長に提言されます。応募資格は国籍、年齢、プロ、アマチュアを問わず、幅広くアイデアを募集しま

す。受賞発表は芸術祭期間中に行い、受賞者には賞状と副賞100万円を贈呈します。

■審査員

坂本 龍一 (SIAF2014 ゲストディレクター)
青木 淳 (建築家/青木淳建築計画事務所)
坂井 文 (北海道大学大学院 工学研究院准教授)
涌井 雅之 (造園家/東京都市大学環境情報学部教授
/岐阜県立森林文化アカデミー学長)
武邑 光裕 (札幌市立大学 デザイン学部教授)

関連企画

SIAF2014 アクティビティ拠点プロジェクト SIAF2014 center of activity project

- 日 程 : 2014年7月19日(土) ~ 9月28日(日)
- 会 場 : 札幌市資料館

札幌市資料館をSIAF2014開催期間中の市民交流、情報発信、アクティビティの拠点として活用します。そのなかで、SIAF2014が提唱するテーマや理念を、来場者や特に次世代へつないでいくために、本施設を「札幌の未来を想像する場」「札幌の未来の入口」として機能させます。インフォメーションセンターをはじめ、市民交流カフェ、SIAF2014の情報発信基地となる編集局などを設置し、新たな出会いと発見をもたらす拠り所として利用

されることを目指します。また「札幌市資料館リノベーションアイデアコンペティション」の展示や、SIAF2014ドキュメント、アーカイブ展示などを通じてSIAF2014の取り組みを紹介します。さらに、「エネルギーとアート」や「都市農業とアート」などをテーマとしたワークショップを開催し、継続的に考える地域プロジェクト開発事業を行なっていきます。

プレフェスティバルイベントについて

札幌国際芸術祭 2014 プレフェスティバルイベント

札幌国際芸術祭トーク&レクチャー

Sapporo international Art Festival 2014 Pre-festival Events,
Sapporo International Art Festival Discussions&Lecture

- 日 程 : 2014年4月19日(土)、5月18日(日)、6月1日(日)
- 会 場 : 札幌市資料館 研修室(2階) ※定員80名
- 担 当 : 飯田 志保子(アソシエイト・キュレーター)
四方 幸子(アソシエイト・キュレーター)

2013年11月にスタートしたトーク&レクチャーシリーズの後半プログラム。
レクチャー形式で、来場者に参加アーティスト、作品、企画のコンセプトについてわかりやすい解説を加えて進行します。

第1回
4月19日(土)

水脈から創脈へ―「センシング・ストリームズ」と「アート×ライフ」プロジェクトについて

SIAF2014は、街なかにも出現します。市民や札幌を訪れる人々が、気軽にひとときを楽しめるプログラムが数多く企画されるなか、中核となるチ・カ・ホの特別展示「センシング・ストリームズ」と広くモノやサービスを交換する参加型プロジェクト「アート×ライフ」プロジェクトについて担当キュレーターが解説します。タイトルには、豊かな水脈の上に生まれた札幌が、未来に向かって人々の「創造脈」を伸ばしていく文化都市へと変貌していくという願いが込められています。

■レクチャー：四方 幸子

第2回
5月18日(日)

「都市と自然」とアートの出会い―芸術祭のテーマと美術館の展覧会について

「都市と自然」は、様々なプロジェクトを通して札幌市内複数会場で開催されます。二つの美術館では「都市」と「自然」それぞれを象徴しながら、対照的で、なおかつ互いに補完しあうような展示を企画しています。キーワードは、「北海道・日本・世界の近代化」「自然環境とエネルギー」「アート&サイエンス」。どのような考えの下に展覧会制作が進んでいるのかについて解説します。

■レクチャー：飯田 志保子

第3回
6月1日(日)

READY GO!―芸術祭へ向けて

シリーズ最終回は、SIAF2014の参加アーティストをお招きして、飯田志保子、四方幸子と共にオープン約1ヵ月半前の進捗状況と開催に向けた展望を話し合います。いずれも札幌の都市や自然、そして人々との出会いから生まれるプロセス重視のプログラムとして、これまでの美術展や国際展とはひと味違った世界の見かたが提供されることでしょう。オーディエンスはそれらのプログラムに対してどのように関わっていくことができるのか。オープンな対話の場を創出します。

■モデレーター：飯田 志保子+四方 幸子

さっぽろふるさとの森づくり植樹祭&育樹祭 2014

Ceremony for planting and growing trees in the hometown forest in Sapporo 2014

- 日 程 : 2014年9月24日(水)
- 会 場 : 茨戸川緑地(札幌市北区篠路町拓北)

大正から昭和初期にかけて行われた北海道の大動脈ともいわれる石狩川の改修工事で切り離された河川跡(三日月湖)である茨戸川は原風景を今に伝えている貴重な場所です。

そこに隣接する茨戸川緑地は「自然生態の復元・創造」「環境教育の場の提供」をコンセプトに、札幌市によって整備が進められてきました。

この茨戸川緑地において、多くの市民、子ども達とともにチダモやイタヤカエデなど約1万本の植樹を行うことで、木のもつ役割の大切さや、それを守り育てていくことの重要性について理解を深めてもらうとともに、SIAF2014が連携することでより広くメッセージを発信していきます。また、SIAF2014の開催を契機として、北海道の末永い繁栄を祈念し、茨戸川緑地では初めてとなる育樹(間伐)の取り組みもスタートさせます。

G-044



さっぽろふるさとの森づくり植樹祭(2007)

■主 催 : 札幌市

札幌交響楽団 第569回定期演奏会 ～伊福部 昭 生誕100年記念～

SAPPORO SYMPHONY ORCHESTRA The 569th Subscription Concert
～100th anniversary! Akira Ifukube(1914-2006)～

- 日 程 : 2014年5月30日(金)、5月31日(土)
- 会 場 : 札幌コンサートホール Kitara
(札幌市中央区中島公園1番15号)

北海道が生んだ最大の作曲家伊福部 昭(1914～2006 / SIAF2014参加アーティスト)の誕生日に彼の名曲を演奏、郷土が生んだ大作曲家の生誕100年を祝います。伊福部 昭の優れた音楽を演奏し、北海道民と共に北海道の文化に誇りを感じる公演になることを目指します。

G-045



Photo: 佐藤 雅英

■主 催 : (公財) 札幌交響楽団 TEL : 011-520-1771

第9回札幌国際短編映画祭

9TH SAPPORO INTERNATIONAL SHORT FILM FESTIVAL AND MARKET

毎年秋に開催される札幌国際短編映画祭と連携し、共同で事業展開を行います。

SIAF2014のチ・カ・ホ会場では、SIAF2014のテーマや内容と関連する短編映画作品を上映。札幌国際短編映画祭では、SIAF2014のテーマ等に関連した作品を上映する予定です。

G-046



■主 催 : SAPPORO ショートフェスト実行委員会、札幌市 TEL : 011-817-8924

そらち炭鉱の記憶アートプロジェクト 2014

Sorachi Art Project Coal mine 2014

- 日 程 : 展覧会期間 / 2014年8月23日(土) ~ 10月13日(月)
 土・日・祝のみ開催の19日間 10:00 ~ 17:00 (入場は16:30まで)
 ワークショップほか / 2014年4月 ~ 2015年1月に複数回実施
- 会 場 : 夕張、三笠、送電線鉄塔の3会場で開催
 「そらち炭鉱の記憶アートプロジェクト / 夕張清水沢」(夕張市旧北炭清水沢火力発電所、ズリ山)
 「そらち炭鉱の記憶アートプロジェクト / 奔別」(三笠市旧奔別炭鉱ホッパーとその周辺)
 「そらち炭鉱の記憶アートプロジェクト / 旧北炭送電線鉄塔の路」(夕張市 ~ 三笠市の各所)

「そらち炭鉱の記憶アートプロジェクト」は、6年前からNPO法人炭鉱の記憶推進事業団と札幌市立大学が中心となり、空知地区炭鉱跡地(夕張、三笠など)においてアートを通じた施設存続と地域再生を目的としたアートプロジェクトを北海道内アーティストと学生による協働で開催してきたものです。

今年の本事業は札幌で開催されるSIAF2014との連携を見据え、「都市と自然」「エネルギーとアート」「北海道における近代化」などをテーマとして視野に入れており、プロジェクト内容としては「そらち炭鉱の記憶アートプロジェクト / 夕張清水沢」(夕張市旧北炭清水沢火力発電所、ズリ山)「そらち炭鉱の記憶アートプロジェクト / 奔別」(三笠市旧奔別炭鉱ホッパーとその周辺)「そらち炭鉱の記憶アートプロジェクト / 旧北炭送電線鉄塔の路」(夕張市 ~ 三笠市の各所)の3部構成で、それぞれの場におけるサイトスペシフィックなアート作品展示を行います。

また、併せて札幌国際芸術祭と連携し8月24日(日)には旧住友奔別炭鉱跡地にて、アンゼラム・キーファー記録映画の上映などが行われます。

G-047



上遠野 敏 Satoshi Katono

〈参考作品〉

《黄金郷 (El Dorado)》2013

「旧住友奔別炭鉱ホッパー (三笠市)」での展示風景

Photo: yuki naka

関連イベント (映画上映)

SIAF2014 招待作品 「あなたの都市の上に草は生える」

原題: Over Your Cities Grass Will Grow

- 日 程 : 2014年8月19日(火) 18時30分上映開始
 ■会 場 : 北海道三笠市奔別町 旧住友奔別炭鉱ホッパー
 ※ 屋外での上映のため、天候に応じて
 会場・時間を変更する場合があります。
 ■料 金 : 無料

- 主 催: 札幌市立大学
 ■共 催: NPO法人炭鉱の記憶推進事業団
 ■助 成: 文化庁 平成26年度「大学を活用した文化芸術推進事業」、
 公益法人福武財団(北海道地域連動アートプロジェクト)
 ■協 力: CAI 現代芸術研究所

TEL (札幌市立大学教授 上遠野 敏): 011-592-2300 (代表)

連携事業について



SAPPORO
INTERNATIONAL
ART FESTIVAL
2014

連携事業

札幌国際芸術祭2014

このほか SIAF2014 では、下記団体などが実施する事業と、広域的に連携を図っていきます。

カルチャーナイト 2014

■日程 : 2014年7月18日(金)
■会場 : 札幌市内各所

■主催 : NPO 法人 カルチャーナイト北海道

PMF (パシフィック・ミュージック・フェスティバル) アウトリーチコンサート

■日程/会場 : 2014年7月22日(火) / 札幌芸術の森美術館
7月31日(水) / 北海道立近代美術館 ほか

■主催 : (公財) パシフィック・ミュージック・フェスティバル組織委員会

アート de トライアルスナガワ~ともに語ろう・人と自然

■日程 : 2014年7月~9月
■会場 : 北海道砂川市内

■主催 : 北海道砂川市

ハコレン/ Hacoren - 札幌ギャラリーネットワーク

■日程 : 2014年7月19日(土) ~ 9月28日(日)
■会場 : 札幌市内ギャラリー

■主催 : ハコレン (札幌ギャラリーネットワーク)

SAPPORO CROSSING

■日程/会場 : 2014年7月4日(金) / エスタ屋上「そらのガーデン」
7月6日(日) / モエレ沼公園「ミュージックシェル」

■主催 : 札幌洋舞連盟 ダンスパフォーマンス「SAPPORO CROSSING」運営委員会

TOBIU CAMP 2014

■日程 : 2014年9月13日(土)、9月14日(日)
■会場 : 旧飛生小学校と周囲の森

■主催 : TOBIU CAMP 実行委員会

舞台「white clock hand」

■日程 : 2014年9月22日(月) ~ 9月28日(日)
■会場 : 札幌市時計台

■主催 : (株)オフィスモロ、札幌時計台 縄文太鼓演奏会『white clock hand』実行委員会

連携事業の募集について

SIAF2014 開催の機運を高め、主催事業に留まらない広がりのある展開を図るため、色々な団体などが実施する事業との連携を図っていきます。

そのため、連携のあり方によって、特別連携事業、連携事業、同時期開催事業、創造都市さっぽろ推進プログラム事業の枠組みを定め、共通ロゴマークも作成しました。こうした取り組みによって、地域を挙げて SIAF2014 を盛り上げ、街全体が芸術祭一色に染まるよう雰囲気を出していきます。

●特別連携事業

SIAF2014 のテーマ&メッセージとの親和性が高く、企画や広報で相互に協力を行うことが可能な事業

・対象期間：2013 年 11 月 4 日（月）～2014 年 9 月 28 日（日）



●連携事業

SIAF2014 のテーマ&メッセージとの親和性があり、企画や広報で連携を図ることが可能な事業

・対象期間：2013 年 11 月 4 日（月）～2014 年 9 月 28 日（日）



●同時期開催事業

SIAF2014 の開催期間中に、共に札幌を盛り上げるため、文化芸術団体などが市内で開催する事業

・対象期間：2014 年 7 月 19 日（土）～9 月 28 日（日）



●創造都市さっぽろ推進プログラム事業

札幌市が主催又は関連する事業で、SIAF2014 の開催目的に賛同し、アート又は創造性の視点を取り入れた事業

・対象期間：2013 年 11 月 4 日（月）～2014 年 9 月 28 日（日）



札幌国際芸術祭 2014 全体としての取り組みについて

■環境負荷低減の取り組み及び一般社団法人 more trees との協定

SIAF2014 は、これからの都市と自然の共生のあり方を考えるため、環境負荷低減に関する取り組みを行います。

2014年2月12日に環境省の基準によるカーボンオフセット認証ラベルを取得。開催によって排出されるCO₂を抑制するとともに、CO₂の一部については北海道産を中心としたオフセットクレジットによって相殺することで、北海道の森林保全と地球温暖化対策としてのCO₂削減を図り、この取り組みを世界中に発信、推進していきます。

また、SIAF2014として森林を通じた環境保全に取り組むため、森林保全団体である一般社団法人 more trees と協定を締結いたします。協定内容は、森林を通じた環境保全の教育や啓蒙に関すること、CO₂などの温室効果ガスの抑制や相殺に関すること、森林資源を活用したアイテムに関することなどを予定しており、市民と共に環境について考え行動するきっかけとなるような環境負荷低減を目指します。

■ボランティアスタッフの募集と育成

SIAF2014の様々な運營業務をお手伝いいただけるボランティアスタッフを募集します。本開催までに数回の説明会、ミーティング、研修会を行うほか、実際にワークショップの運営をお手伝いいただくなど、育成プログラムも順次展開していきます。

- ・登録期間 / 2013年11月4日(月)～2014年5月15日(木)
- ・登録方法 / 札幌市コールセンターへTEL、FAX、E-mailのいずれかでお申し込みください。
TEL: 011-222-4894 / FAX: 011-221-4894 / E-mail: info4894@city.sapporo.jp
※ 正確な情報をご登録いただくために、FAX又はE-mailでのお申し込みにご協力ください。
※ 札幌市コールセンター
【日本語、英語、中国語、韓国語の四カ国語対応】年中無休 8:00～21:00

■ミュージアム及び地域間ネットワーク

SIAF2014の開催テーマやサブテーマと親和性がある北海道内の施設・地域・場所を公式ガイドブック等で紹介し、芸術祭に訪れる人々が現地に関心をもって赴くなど、開催テーマを多角的に体験してもらうことを目的としています。

【選定要件】

◎ミュージアムネットワーク

日本の近代化におけるエネルギーの歴史や、札幌・北海道の文化や歴史、先住民族の文化(アイヌの歴史)など、SIAF2014の開催テーマやメッセージと親和性や関連があり(SIAF2014の各施設展示との関連など)、SIAF2014をより深く理解する事に繋がる北海道内の美術館、博物館等の施設。

◎地域間ネットワーク

SIAF2014との関連があり、豊かな自然環境が体感でき独自の文化事業を展開している、もしくは都市と自然の共生を目指して先進的な取り組みをしている地域・場所。

■その他

札幌市の姉妹都市である韓国 大田(テジョン) 広域市より、アーティストを招聘いたします。

開催スケジュール

エキシビション	7月	8月	9月
企画展示「都市と自然」	7/19		9/28
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">アーティスト 関連イベント</div> SIAF2014 招待作品 「あなたの都市の上に草は生える」	7/19.20		
SIAF2014 記念上映 「あなたの都市の上に草は生える」	7/19-22 (東京) 7/26 (山口)	8/24 (三笠)	
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">アーティスト 関連イベント</div> SIAF2014 特別シンポジウム 「中谷 芙二子：霧は語る」		8/23	
チ・カ・ホ特別展示「センシング・ストリームズ」	7/19		9/28
赤れんが特別展示「伊福部 昭・掛川 源一郎」展	7/19		9/28
500m 美術館企画展示 「北海道のアーティストが表現する「都市と自然」－「時の座標軸」－」	7/19		9/28
坂本 龍一 + YCAM InterLab 「フォレスト・シンフォニー in モエレ沼」	7/19		9/28
大竹 伸朗「時憶／美唄」	7/19		9/28
島袋 道浩 (タイトル未定)	7/19		9/28
田島 一成「SAPPORO PROJECT」	7/19		9/28
パフォーマンス / ライブ	7月	8月	9月
高谷 史郎「CHROMA」	7/26.27		
Sidi Larbi Cherkaoui + Damien Jalet「BABEL (words)」		8/22	
札幌国際芸術祭 2014 記念特別公演 (東京公演) Sidi Larbi Cherkaoui + Damien Jalet「BABEL (words)」		8/29-31	
Alva Noto + Ryuichi Sakamoto「S&S」			9/27

開催スケジュール

プロジェクト	事前	7月	8月	9月
参加型プロジェクト「アート×ライフ」		7/19		9/28
コロガル公園 in ネイチャー		7/19		9/28
暮らしかた冒険家【hey, sapporo】		7/19		9/28
都市空間のサウンドコンペティション	募集期間 2014.2/1 ~ 3/31	作品展示 7/19		9/28
関連企画 坂本 龍一 ウェルカムサウンド		7/19		9/28
札幌市資料館リノベーションアイデアコンペティション	登録期間 2013.12/1 ~ 2014.3/31 作品募集期間 2014.3/1 ~ 4/30	作品展示 7/19		9/28
関連企画 SIAF2014 アクティビティ拠点プロジェクト		7/19		9/28

プレフェスティバルイベント	事前	7月	8月	9月
札幌国際芸術祭トーク&レクチャー	4/19 5/18 6/1			

特別連携事業	4月～6月	7月	8月	9月
さっぽろふるさとの森づくり植樹祭&育樹祭 2014				9/24

主な会場

※SIAF2014 会期中は、開館時間、休館日が異なる可能性があります。

G-048



北海道立近代美術館

1977年7月開館。北海道の地域性と国際性を視座に、コレクションの充実、ユニークで多彩な展覧会の開催、様々な教育・情報サービスを積極的に進めています。地域に開かれ、また地域の美術文化を拓くことを基本理念に、北海道における文化拠点として、さらなる進展を目指します。

住所：札幌市中央区北1条西17丁目

開館時間：9:30～17:00

休館日：毎週月曜日

(月曜日が祝日又は振替休日のときは開館、翌火曜日休館。展示替え期間など)

URL：<http://www.aurora-net.or.jp/art/dokinbi/>

G-049



札幌芸術の森美術館

札幌芸術の森美術館は、1990年9月、北海道札幌市南部の緑豊かな丘陵地に位置する複合文化施設・札幌芸術の森に開館しました。札幌、北海道ゆかりの作家の作品及び国内外の近現代美術などを収集の核としつつ、多彩な内容の特別展を年間5～7本開催すると共に、美術に関する調査研究活動を行っています。また、74点の彫刻作品を常設展示する野外美術館、及び制作のできる佐藤忠良記念子どもアトリエを併設します。さらに、園内の豊かな自然環境や周辺の教育・研究機関などとのつながりを活かした連携事業を通して、市民に生涯学習の場を提供しています。創造都市・札幌の美術文化振興の中心的役割を担う美術館として、心豊かな街づくりに貢献することを目指します。

住所：札幌市南区芸術の森2丁目75

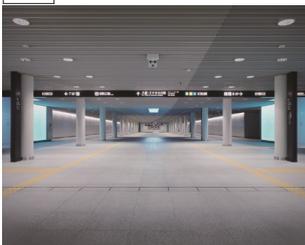
開館時間：9:45～17:00

休館日：4月29日～11月3日は無休

(11月4日～4月28日は月曜日休館。但し、月曜日が祝日の場合は開館し、翌火曜日休館)

URL：<http://sapporo-art-museum.jp>

G-010



札幌駅前通地下歩行空間 (チ・カ・ホ)

2011年3月開通。1年の半分を雪が覆う札幌の都心を、四季を通じて安全・快適に歩くことができるようになり、さらに、札幌駅周辺地区と大通・すすきの地区が地下でつながることで、より気軽に都心全体のまち巡りを楽しむことが出来るようになりました。広場(交差点広場、憩いの空間)は、パフォーマンスや音楽などのイベント、アート作品展示、情報発信などの催しはもちろんのこと、販促や商品PRなどの商業プロモーションを実施するなど、様々な賑わいを生み出しています。

区間：札幌市営地下鉄南北線さっぽろ駅から大通駅

延長：約520m(うち国道区間は約160m)

幅員：20m(歩行空間12m+憩いの空間4m×2)

通行時間：5:45～24:30

URL：<http://www.sapporo-chikamichi.jp/>

G-017



北海道庁赤れんが庁舎

1888年完成。四季折々に赤く映え、美しい姿を見ている北海道庁旧庁舎は「赤れんが」の愛称で広く親しまれています。この設計は平井晴二郎を主任とした道庁の技師が担当し、アメリカ風ネオ・バロック様式のれんが造りで、れんが、硬石、木材など多くは、北海道産の資材が使用されています。以来、新庁舎完成までの80年にわたり、北海道の拠点、道の中核としての役割を果たしてきました。今日、これほど優れた明治時代の洋風建築物は国内でも少なく、1969年、国から重要文化財の指定を受けました。

住所：札幌市中央区北3条西6丁目

開館時間：8:45～18:00

休館日：年末年始(12月29日～翌1月3日)

URL：<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sm/sum/sk/akarenga.htm>

G-050



モエレ沼公園

2005年7月開園。彫刻家イサム・ノグチが計画に参画し、「公園をひとつの彫刻」とするダイナミックな構想により造成が進められた「札幌市環状グリーンベルト」構想の北部系緑地の核となる都市公園です。

5月には「サクラの森」のサクラが咲き、6月から9月にかけてはモエレビーチが開放されます。その他の施設として、イサム・ノグチがデザインした120基以上の遊具のある7ヶ所の遊具エリアや、石狩平野を囲む山脈を一望できる、高さ50mのモエレ山や30mのプレイマウンテンがあります。スポーツ施設としては、15面のテニスコートに野球場、陸上競技場があります。イベント施設では、野外ステージやミュージックシェルなどがあります。冬はクロスカントリースキーやスノーボードにソリ遊びが中心となり、一年を通して遊びを提供します。

住所：札幌市東区モエレ沼公園1-1

入口開放時間(東入口ゲート)：7:00～22:00(入場ゲートは21時まで)

休園日：無休(但し、各施設はそれぞれ休業日あり)

URL：<http://www.sapporo-park.or.jp/moere/>

主な会場

※SIAF2014 会期中は、開館時間、休館日が異なる可能性があります。

G-042



札幌市資料館

1926年に札幌控訴院(のちの札幌高等裁判所)として建てられた建物で、1973年3月の裁判所の移転に伴い、同年11月に札幌市の財産となり、札幌市資料館として開館しました。札幌軟石を使った建物として全国的に貴重なものであり、1997年5月には国の登録有形文化財に選定されました。以来、札幌の歴史を紹介する施設として広く親しまれています。

住所：札幌市中央区大通西13丁目
開館時間：9:00～19:00
休館日：毎週月曜日（月曜日が祝日に当たるときは、翌日が休館日）と年末年始（12月29日～翌1月3日）
URL：<http://www.s-shiryokan.jp/>

G-020



札幌大通地下ギャラリー 500m美術館

札幌市の地域特性のひとつである地下空間を地元アーティストの発表の場として活用し、札幌の文化芸術を内外に発信すると共に、国内外の作家の作品を展示し、市民が様々な芸術作品に触れる機会を創出することを目的に、2011年11月に常設化しました。駅施設内のものである日本最長のギャラリーであり、500m美術館と札幌駅前通地下歩行空間（チ・カ・ホ）からなる地下空間ネットワークで「2012年度グッドデザイン賞」（主催：公益財団法人日本デザイン振興会）を受賞しています。

住所：札幌市中央区大通西1丁目～大通東2丁目
（地下鉄大通駅とバスセンター前駅を結ぶ地下コンコース（地下2階相当）内）
開館時間：7:30～22:00（照明点灯時間）
休館日：無休
URL：<http://500m.jp/>

G-051



札幌市教育文化会館

1977年7月開館。札幌市における芸術文化活動の振興に資するため、設置されました。大・小2つの多目的ホールに加え、全9タイプの研修室や、合唱・踊り・演劇などの練習室、ギャラリーの貸し出しを行っています。札幌市営地下鉄西11丁目駅から徒歩5分という立地の良さから、様々なイベントに、市民の皆さまをはじめ、道外からも数多くのお客様に施設をご利用いただいております。

住所：札幌市中央区北1条西13丁目
開館時間：8:45～21:00
休館日：毎月の第2月曜日及び第4月曜日（月曜日が国民の祝日に当たるときは、月曜日後最初に到来する休日以外の日）と年末年始（12月29日～翌1月3日）
URL：<http://www.kyobun.org/>

G-052



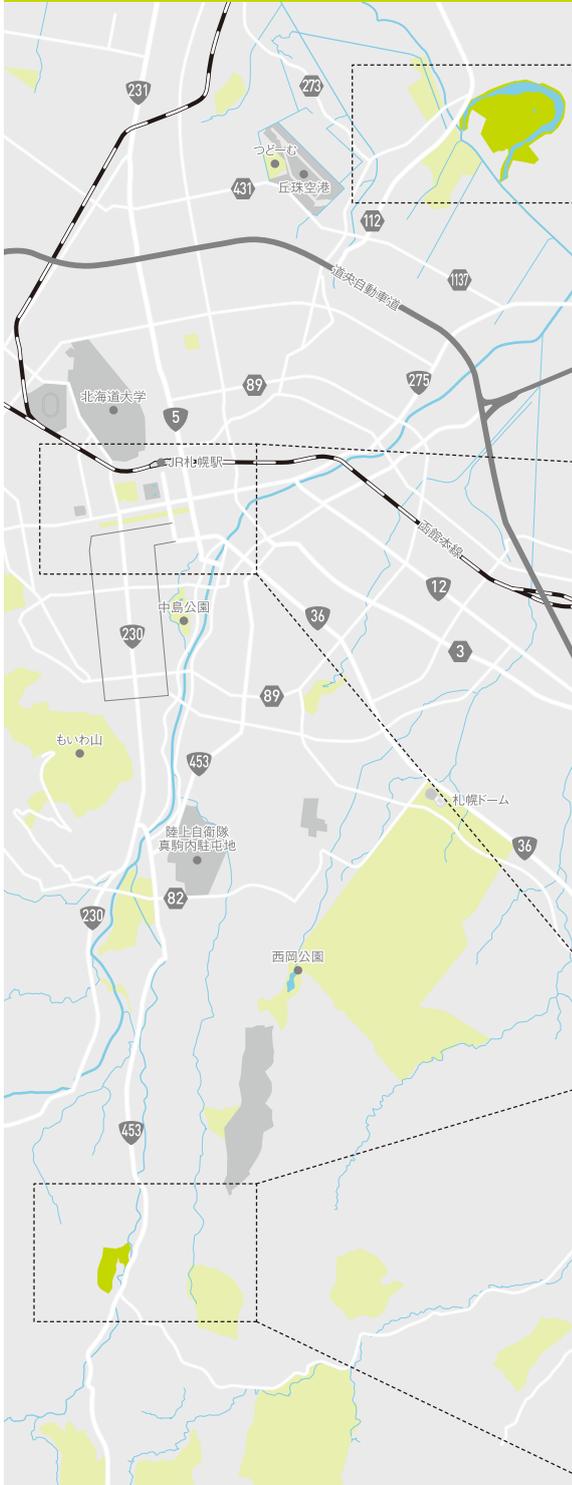
さっぽろ芸術文化の館 ニトリ文化ホール

1971年開館。北海道最大規模の客席数2,300席を誇る「さっぽろ芸術文化の館（ニトリ文化ホール）」は、本格的なオペラやバレエなどの質の高い舞台芸術や全国を回るツアーコンサートなどのライブエンターテインメントをはじめ、学会や全国大会、入学式・卒業式などの記念行事まで、非常に幅広い催しが行われ、毎年約40万人が訪れる施設です。北海道厚生年金会館時代に売却されることが明らかになった際、ホールの存続を願う会が発足し、チャリティコンサートや募金活動が展開されるなど、アーティストや地元住民に愛され、文化芸術の拠点として、札幌市はもとより、北海道全体の文化芸術振興を40年以上支えています。

住所：札幌市中央区北1条西12丁目
開館時間：9:00～21:00
休館日：無休
URL：<http://www.sapporo-geibun.jp/hall.html>

会場 MAP (札幌市内)

広域MAP



モエレ沼エリア



札幌市街地エリア



札幌芸術の森エリア



札幌へのアクセス



チケット情報

札幌国際芸術祭 2014

■前売券発売予定日：2014年5月1日(木)

共通チケット
北海道立近代美術館と
札幌芸術の森美術館に
ご入場いただけるセット券です。

	一般	大学生	高校生
前売券	1,500円	1,000円	700円
当日券	1,800円	1,300円	800円
団体割引券	1,500円	1,000円	700円

**個別鑑賞
チケット**
[北海道立近代美術館]

	一般	大学生	高校生
当日券	1,100円	800円	500円
団体割引券	900円	600円	400円

[札幌芸術の森美術館]

	一般	大学生	高校生
当日券	1,100円	800円	500円
団体割引券	900円	600円	400円

※中学生以下は無料です。

※共通チケットは20名以上で団体割引が適用になります。

※北海道立近代美術館は10名以上、札幌芸術の森美術館は20名以上で団体割引が適用になります。

パフォーマンス／ライブ

高谷 史郎 [CHROMA]

公演日 7月26日(土) 開場 18:30 開演 19:00
7月27日(日) 開場 14:30 開演 15:00
会場 札幌市教育文化会館 大ホール

2014年3月14日(金)
発売開始

【料金】(全席指定)

一般 3,500円(税込) 25歳以下 2,000円(税込)

※車椅子をご利用の方はキョードー札幌まで

【チケット取り扱い】

・ローソンチケット TEL:0570-084-001 (Lコード:18271)
・チケットぴあ TEL:0570-02-9999 (Pコード:435-615)
・大丸プレイガイド TEL:011-221-3900 ※一般席のみの販売
・キョードー札幌 TEL:011-221-0144 ※一般席のみの販売

Sidi Larbi Cherkaoui + Damien Jalet [BABEL (words)]

公演日 8月22日(金) 開場 18:00 開演 19:00
会場 さっぽろ芸術文化の館 ニトリ文化ホール

2014年3月14日(金)
発売開始

【料金】(全席指定)

S席 6,000円(税込)

A席 [一般] 4,000円(税込) / [25歳以下] 2,000円(税込)

※車椅子をご利用の方はキョードー札幌まで

【チケット取り扱い】

ローソンチケット TEL:0570-084-001 (Lコード:18221)
チケットぴあ TEL:0570-02-9999 (Pコード:435-552)
大丸プレイガイド TEL:011-221-3900 ※S席、A席 [一般] のみの販売
キョードー札幌 TEL:011-221-0144 ※S席、A席 [一般] のみの販売

Alva Noto + Ryuichi Sakamoto [S&S]

公演日 9月27日(土)
会場 札幌市教育文化会館 大ホール

※今春より販売開始予定

映画上映

あなたの都市の上に草は生える

上映日 7月20日(日)
会場 北翔大学北方圏学術情報センター「ポルト」

【観覧料】一般 1,000円、25歳以下 800円

実施体制

《企画体制》

ゲストディレクター	坂本 龍一
企画アドバイザー	浅田 彰
アソシエイト・キュレーター	飯田 志保子
アソシエイト・キュレーター (メディア・アート)	四方 幸子
地域ディレクター	端 聡
チーフ・プロジェクト・マネージャー	小田井 真美
プロジェクト・マネージャー	漆 崇博
プロジェクト・マネージャー	カジタ シノブ
プロジェクト・マネージャー (学芸担当)	難波 祐子
プロジェクト・マネージャー	小川 智彦
プロジェクト・マネージャー (メディア・アート担当)	細川 麻沙美
プロジェクト・マネージャー (サウンド担当)	須之内 元洋
プロジェクト・アシスタント	大下 裕司
プロジェクト・アシスタント (学芸担当)	清澤 暁子
ゼネラル・プロデューサー	武邑 光裕

《実行委員会メンバー》

- 会 長 上田 文雄 (札幌市 札幌市長)
■副会長 高向 巖 (札幌商工会議所 会頭)
武邑 光裕 (札幌市立大学 デザイン学部教授 / 札幌メディア・アーツラボ (SMAL) 所長 / NPO 都市文化創造機構)
奥岡 茂雄 (美術評論家)

■委 員

- 横内 龍三 (株) 北洋銀行 取締役会長
堰八 義博 (株) 北海道銀行 代表取締役頭取
村田 正敏 (株) 北海道新聞社 代表取締役社長
星野 尚夫 (一社) 札幌観光協会 会長
福井 知克 (幹事) (財) さっぽろ産業振興財団 専務理事
橋本 道政 (財) 札幌市芸術文化財団 副理事長
増井 一実 (朝日新聞社北海道支社 支社長)
齊藤 善也 (毎日新聞社北海道支社 支社長)
中川 俊哉 (読売新聞東京本社北海道支社 執行役員 / 支社長)
篠原 昇司 (日本経済新聞社札幌支社 支社長)
川野 芳水 (日本放送協会札幌放送局 (NHK) 局長)
渡辺 卓 (北海道放送 (HBC) 代表取締役社長)
島田 洋一 (札幌テレビ放送 (STV) 代表取締役社長)
樋泉 実 (北海道テレビ放送 (HTB) 代表取締役社長)
- 須賀 信昭 (北海道文化放送 (UHB) 代表取締役社長)
関口 尚之 (テレビ北海道 (TVH) 代表取締役社長)
柴田 正良 (株) STV ラジオ 代表取締役社長
宇佐美 暢子 (株) エフエム北海道 代表取締役社長
柴野 伸幸 (株) エフエム・ノースウェーブ 代表取締役社長
渡邊 光春 (札幌市 市長政策室長)
可児 敏章 (札幌市 観光文化局長)

■アドバイザー

- 阿部 典英 (北海道文化団体協議会 会長)
水田 順子 (道立近代美術館 学芸副館長)
天野 太郎 (横浜美術館 首席学芸員)
北村 清彦 (北海道大学文学研究科 博士 / 教授)
佐藤 友哉 (札幌芸術の森美術館 館長)

参加アーティスト ※各事業毎のアルファベット順

エキシビション

名前 (日/英)	生年	国籍	会場	
■企画展示「都市と自然」				
スボード・グプタ	Subodh Gupta	1964年	インド	北海道立近代美術館
畠山 直哉	Naoya Hatakeyama	1958年	日本	北海道立近代美術館
平川 祐樹	Youki Hirakawa	1983年	日本	札幌芸術の森美術館
アンゼルム・キーファー	Anselm Kiefer	1945年	ドイツ	北海道立近代美術館
工藤 哲巳	Tetsumi Kudo	1935年 (~ 1990年)	日本	北海道立近代美術館
栗林 隆	Takashi Kuribayashi	1968年	日本	札幌芸術の森美術館
松江 泰治	Tajji Matsue	1963年	日本	札幌芸術の森美術館
三原 聡一郎	Soichiro Mihara	1980年	日本	札幌芸術の森美術館
宮永 愛子	Aiko Miyanaga	1974年	日本	札幌芸術の森美術館
中谷 芙二子	Fujiko Nakaya	1933年	日本	札幌芸術の森美術館
中谷 宇吉郎	Ukichiro Nakaya	1900年 (~ 1962年)	日本	北海道立近代美術館
カールステン・ニコライ	Carsten Nicolai	1965年	ドイツ	北海道立近代美術館 札幌芸術の森美術館
岡部 昌生	Masao Okabe	1942年	日本	北海道立近代美術館
トマス・サラセーノ	Tomás Saraceno	1973年	アルゼンチン	札幌芸術の森美術館
砂澤 ビッキ	Bikky Sunazawa	1931年 (~ 1989年)	日本	札幌芸術の森美術館
高谷 史郎	Shiro Takatani	1963年	日本	北海道立近代美術館
●会場構成				
青木 淳 + 丸田 絢子	Jun Aoki + Ayako Maruta	青木 淳：1965年 丸田 絢子：1978年	日本	北海道立近代美術館ほか
■チ・カ・ホ特別展示「センシング・ストリームズ」				
A.P.I. (アーキティック・パースペクティブ・イニシアティブ)	A.P.I. (Arctic Perspective Initiative)	2006年結成	各国	札幌駅前通地下歩行空間 (チ・カ・ホ)
アンティエ・グライエ=リパッティ (AGF)	Antye Greie-Ripatti aka AGF	1969年	ドイツ	札幌駅前通地下歩行空間 (チ・カ・ホ)
ジョン・ビョンサム	Byeong Sam Jeon	1977年	韓国	札幌駅前通地下歩行空間 (チ・カ・ホ)
菅野 創 / yang02	So Kanno / yang02	菅野 創：1984年 yang02：1984年	日本	札幌駅前通地下歩行空間 (チ・カ・ホ)
毛利 悠子	Yuko Mohri	1980年	日本	札幌駅前通地下歩行空間 (チ・カ・ホ)
パク・ジョンソン	Jungsun Park	1974年	韓国	札幌駅前通地下歩行空間 (チ・カ・ホ)
坂本 龍一 + 真鍋 大度	Ryuichi Sakamoto + Daito Manabe	坂本 龍一：1952年 真鍋 大度：1976年	日本	札幌駅前通地下歩行空間 (チ・カ・ホ)
セミトランスペアレント・デザイン	Semitransparent Design	2003年結成	日本	札幌駅前通地下歩行空間 (チ・カ・ホ)
進藤 冬華	Fuyuka Shindo	1975年	日本	札幌駅前通地下歩行空間 (チ・カ・ホ)
露口 啓二	Keiji Tsuyuguchi	1950年	日本	札幌駅前通地下歩行空間 (チ・カ・ホ)
山川 冬樹	Fuyuki Yamakawa	1973年	日本	札幌駅前通地下歩行空間 (チ・カ・ホ)
■赤れんが特別展示「伊福部 昭・掛川 源一郎」展				
伊福部 昭	Akira Ifukube	1914年 (~ 2006年)	日本	北海道庁赤れんが庁舎
掛川 源一郎	Genichiro Kakegawa	1913年 (~ 2007年)	日本	北海道庁赤れんが庁舎

参加アーティスト ※各事業毎のアルファベット順

エキシビション

名前 (日/英)	生年	国籍	会場	
■ 500m 美術館企画展示「北海道のアーティストが表現する「都市と自然」－「時の座標軸」－」				
伊藤 隆介	Ryusuke Ito	1963 年	日本	札幌大通地下ギャラリー 500m 美術館
上遠野 敏	Satoshi Katono	1955 年	日本	札幌大通地下ギャラリー 500m 美術館
高田 洋三	Yozo Takada	1971 年	日本	札幌大通地下ギャラリー 500m 美術館
武田 浩志	Hiroshi Takeda	1978 年	日本	札幌大通地下ギャラリー 500m 美術館
■ 坂本 龍一 + YCAM InterLab 「フォレスト・シンフォニー in モエレ沼」				
坂本 龍一 + YCAM InterLab	Ryuichi Sakamoto + YCAM InterLab	坂本 龍一：1952 年 YCAM InterLab：2003 年設立	日本	モエレ沼公園
■ 大竹 伸朗 「時憶／美唄」				
大竹 伸朗	Shinro Ohtake	1955 年	日本	札幌市資料館
■ 島袋 道浩 (タイトル未定)				
島袋 道浩	Shimabuku	1969 年	日本	-
■ 田島 一成 「SAPPORO PROJECT」				
田島 一成	tajima kazunali	1968 年	日本	-

パフォーマンス/ライブ

名前 (日/英)	生年/国籍	会場	
■ 高谷 史郎 「CHROMA」			
高谷 史郎	Shiro Takatani	1963 年/日本	札幌市教育文化会館 大ホール
■ Sidi Larbi Cherkaoui + Damien Jalet 「BABEL^(words)」			
シディ・ラルビ・シェルカウイ + ダミアン・ジャレ Sidi Larbi Cherkaoui + Damien Jalet	シディ・ラルビ・シェルカウイ：1976 年/ベルギー ダミアン・ジャレ：1976 年/ベルギー、フランス	さっぽろ芸術文化の館 ニトリ文化ホール	
■ Alva Noto + Ryuichi Sakamoto 「S&S」			
アルヴァ・ノート + 坂本 龍一	Alva Noto + Ryuichi Sakamoto	アルヴァ・ノート：1965 年/ドイツ 坂本 龍一：1952 年/日本	札幌市教育文化会館 大ホール

プロジェクト

名前 (日/英)	生年	国籍	会場	
■ 参加型プロジェクト「アート × ライフ」				
COMMUNE	COMMUNE	2005 年結成	日本	札幌駅前通地下歩行空間 (チ・カ・ホ)
エキソニモ	exonemo	1996 年結成	日本	-
深澤 孝史	Takafumi Fukasawa	1984 年	日本	札幌市資料館
IDPW (アイパス)	IDPW	-	-	-
■ コロガル公園 in ネイチャー				
YCAM InterLab + 五十嵐 淳	YCAM InterLab + Jun Igarashi	YCAM InterLab：2003 年設立 五十嵐 淳：1970 年	日本	札幌市資料館
■ 暮らしかた冒険家【hey, sapporo】				
暮らしかた冒険家 池田 秀紀・伊藤 菜衣子	Lifestyle Adventurer: Hidenori Ikeda, Saiko Ito	池田 秀紀：1980 年 伊藤 菜衣子：1983 年	日本	-
■ 坂本 龍一 ウェルカムサウンド (国際公募 関連企画)				
坂本 龍一	Ryuichi Sakamoto	1952 年	日本	新千歳空港



創造都市さっぽろ・国際芸術祭実行委員会
<http://www.sapporo-internationalartfestival.jp>

●お問い合わせ先 ※ 広報用画像のお申し込みは、下記宛先までご連絡ください。

創造都市さっぽろ・国際芸術祭実行委員会 国際芸術祭事務局

〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市観光文化局国際芸術祭担当部内

TEL : 011-211-2314 / FAX : 011-218-5154

E-mail : press@siaf.jp